

## 令和 4 年度 大学塾 第 3 ステージ 開催案内

### 生誕 150 年 「樋口一葉」の生涯・旧居跡・作品

明治 5 年 (1872 年) 生まれの樋口一葉は今年生誕 150 年を迎えました。24 歳 7 か月の短い生涯でしたが、19 歳で小説家を志し、わずか 5 年で「にごりえ」「たけくらべ」などの名作を発表し、今でもその人気は衰えていません。波乱万丈の人生と代表作の魅力を探り、その舞台となった本郷地区の現地学習を行います。



樋口一葉

講師：渡邊 征夫 氏 ・ 文京ふるさと歴史館 友の会

第 1 回 11/4 樋口一葉 24 年 7 か月の生涯

第 2 回 11/11 現地学習 (文京ふるさと歴史館・一葉旧居跡・旧伊勢谷質店跡・他)

第 3 回 11/18 「たけくらべ」を読む — 森鷗外との関わりにふれながら —

講師：倉本 幸弘 氏 ・ 近現代文学研究家・森鷗外記念会常任理事

会場：足立区生涯学習センター(学びピア 21 内) 5 階 研修室 4・第 2 回 現地学習

毎回 水曜日 全 3 回 午後 2 時～4 時

### 性翁寺住職に聞く「足立姫」伝説と地域社会



皆さん、足立姫伝説・六阿弥陀伝説など足立に昔から伝わる伝説をご存じですか？これらは足立区の性翁寺に伝えられたお話です。その性翁寺の住職と長年伝えられてきたお寺の在り方や地域における存在意義について考えてみましょう。そして、現地学習で足立姫・六阿弥陀伝説を実感してください。

講師：野口 竜栄 氏 性翁寺 住職

第 1 回 11/8 足立姫伝説と性翁寺の歴史

第 2 回 11/15 現地学習 地域と寺院のかかわり

第 3 回 11/22 現地学習 (足立姫・六阿弥陀伝説の区内関連施設)

性翁寺・宮城氷川神社・恵明寺・熊木塚跡・等

会場：足立区生涯学習センター(学びピア 21 内) 5 階 研修室 4・第 2・3 回 性翁寺

毎回 火曜日 全 3 回 午後 2 時～4 時

## 特別講演会「江戸のヒロイン」 ～ 歴史をつくった女性たち～

9月23日の祝日、お江戸ルほーりーこと堀口菜純さんによる特別講演会「江戸のヒロイン」～歴史をつくった女性たち～は、学びピア講堂に113名の受講者を集め開催されました。江戸時代に活躍した女性は名前を知られていても、女性たちがどう社会を動かし、現在の日本社会にどのようにつながっているかは意外に知られていない。また、女性たちの働きがなかったら、歴史は変わっていなかったという出来事もある。



また、男尊女卑の江戸時代は女性が表に立つことは難しい時代でもあった。そんな時代の中で実は大きな役割を果たしていた女性に焦点を当て、浮世絵などを使いながら具体的なお話しをして頂いた。

武家女性では、三代将軍を巡る幕府内の対立に春日局が尽力したという。また、徳川13代将軍正室天璋院と14代将軍正室和宮が嫁姑の確執を捨て、命を賭けて江戸城を無血開城に導き、二人で徳川の幕を引いて時代を変え、明治維新につながる道を開いた。庶民女性では、八百屋お七は歌舞伎や文楽でよく取り上げられ、浮世絵も有名である。大火の避難先の寺で知り合った寺小姓と恋仲になり、再会したいばかりに自宅に放火をし、火あぶりの刑で江戸庶民の同情をかう。女の恋心と切なさは現代にも通じる思いであろう。



日本橋三越本店は三井越後屋呉服店として創業したが、「店先売り」「現銀掛値無し」で繁盛し、今に引き継ぐ。これはひとえに三井高利の母、殊法の才覚であるというが、三井殊法は江戸時代の商才に長けていた女商人であり、庶民女性でもある。

芸能者では出雲阿国が創り出したかぶき踊りが人々の人気を得て、阿国が男装して踊ったことなどから遊女屋でも取り入れられ、遊女歌舞伎として全国に広まった。男装した遊女などの掛け合いなどが風紀の乱れと幕府からの取り締まりを受け、以後女性の芸能者は舞台に立つことが禁止された。今でも歌舞伎の舞台に女性は立つことができない。遊女では湯女であった勝山が侍風の男装と才気、人柄で人気となり、吉原遊郭でトップスターの太夫に上り詰めた。花魁道中では吉原の伝統を覆し、外八文字で歩いたという。着物の丹前、勝山髷などは勝山が世に広めた文化である。高尾太夫も有名であるが、吉原遊郭は衣装や髪型などファッションの先端を発信する所であり、さまざまな文化を下から上へと伝播させる所でもあった。太夫とは、芸事、教養、文学、人柄、品位など全てにおいて優れ、男性と対等に渡り合う器量をもっていた。



ほーりーさんは三分野の女性を取り上げながら、世界における今日の日本のジェンダーギャップ指数の低さを示され、江戸時代の方がよほどそのギャップがなかったのではないかと投げかけられました。ジェンダーギャップをなくすことは若い人たちのためにも私たちの課題であると思います。



受講者からは・とても分かりやすい講座でお話が面白かった。・たくましく生きる江戸の女性のエピソードを交えながら楽しかった。

・女性の視点からの説明が新鮮だった。・江戸の女性が生き生きと暮らしていたというお話に感銘を受け、文化が下から上に伝わるのは日本独自だと知った。など楽しく講演を聞かれた方が多く、とても好評でした。私は初めてほーりーさんの講座を担当し、やり取りする中でまだ若いのに誠実で勉強家の方だと感心しました。控室でも公演寸前まで、原稿を繰り返しチェックされておりましたが、気軽に声掛けができる雰囲気のおかげで良かったです。これからもますますほーりーファンが増えることと思います。

(林 令子)

## 江戸庶民と武士の暮らし入門



9月9日（金）・17日（土）・24日（土）の3回にわたり生涯学習センター研修室1にて開催された。講師は足立区在住で江戸文化歴史検定1級等、数々の資格を持つ、歴史研究家の大沢正明氏。応募者は53名、受講者は47名、出席は第1回44名・第2回40名・第3回34名で合計118名であった。

**第1回**は「江戸庶民の食・旅・遊郭」で、食については庶民は1日5合の米を朝に炊き、それを3食に分けて食べ、おかずは質素なものであった。江戸前の四天王といわれる蕎麦・鰻・寿司・天麩羅は屋台・辛口醤油の普及に加え、せっかちな江戸っ子気質に合致し人気を博した。旅は五街道や江戸四宿の整備と大山参り・伊勢参りなどが庶民に普及していった。遊郭は江戸の男性が多い人口構成などの事情と吉原の町の構成が解説された。

**第2回**は「江戸城での将軍・幕臣と大奥の仕組み」で、江戸幕府の職制図により組織と職名・大名の老中への昇進の過程・位階や官位の関係などが解説された。江戸城における勤務時間は朝の10時から14時くらいが基準となっていた。又、江戸城本丸の見取り図で、表（諸役人の執務スペース）・中奥（将軍の住まい）・大奥（御台所と奥女中の住まい）の状況が説明された。



**第3回**は「外国人が見た江戸庶民と武士」で、江戸時代に来日したケンベル、ペリー、ハリス、オールコック、フォーチュン、スウェンソン、イザベラ・バードなどの滞在記録や日本人の生活の印象など、来日外国人の目に日本がどのように残ったのかを説明された。衛生状況は良くなかったが、日本人の真面目さや優しさには大いに評価をしていた。

**受講者のご意見：**・江戸の町民や武士の生活風景が頭に浮かび、その当時を思う気持ちがわいてきました。

大沢先生の大変わかりやすい解説でよく理解できました。

・歴史の映画・本は見たり読んだりしていたが、それ以上に引き込まれ楽しかったです。学校では教えてくれない部分がたくさんあって勉強になりました。・今迄と違った角度から江戸時代を勉強できてとても興味深かった。先生の説明はわかりやすく理解できたと思う。2時間という講座の時間としては長いほうだと思うが、早く時間が過ぎた。

レジュメがわかりやすく良かった。・江戸時代もいつの世も女性がささえているのが分かり、悲しくもあり力強さも感じるととても興味のあるテーマです。庶民の生活をもっと知りたい。

コロナ対策と講義が時間オーバーになったので質疑応答はできなかったが、先生に質問に来る受講者もなく概ねご理解いただけたものと思われる。



(糸井史郎)

# 令和4年9月月例会 報告

## 私の“畑”ボランティア

神戸 明



本庄市の知り合いの畑 500 坪ほどを預かり、親方と仲間3名で野菜を作るボランティアをしている。毎週金曜日の朝 5 時前に車が迎えに来て、夕方 4 時-5 時に帰る。主な作物は、タマネギ・ジャガイモ・ブロッコリーで、大根、赤と白の蕪、ホウレンソウ・カボチャ・冬瓜・ネギなども作る。果物では柿・かぼす・イチジクなど。自慢は無農薬で、殺虫剤や除草剤など使わないので雑草取りが大変。畑作業の 1/3 は雑草取りなのだ。今どき這いつくばって雑草取りをしている畑は少ない。エンジン式のクッターも使うが、野菜の直ぐ近くは手作業だ。畑作業の報酬は、「売れない作物」で、時には山ほどジャガイモを貰うことがある。収穫した作物は、足立区青井で親方が販売している。近くのスーパーと同じか少し安い。無農薬で採りたて、しかも安いから売れる。畑作業は、足腰が丈夫になる。それで元気になった。農作業は中腰が肝要で、1日にスクワットと同じ動作を数百回し、一輪車に重い荷物を乗せてあぜ道を押してゆく。作業後、腰と膝に痛みは出るが、翌日には感じなくなる。実は私のふくらはぎとモモは筋肉でムチムチなのだ。また雨風・気温を野菜に関連して感じるようになり、季節に敏感になった。昨年からは音楽を聴きながら作業している。お蔭で夏の暑さにも耐え、冬の赤城降ろし(寒風)にもめげず作業している。困ったことは、帰り道お疲れさまの缶ビールや缶酎ハイを飲むので、腹が出ること。畑作業では腹は凹まないのだ、残念。土に触ることは良いことだ、暑くても寒くても野良に出ることは良いことだ。しかしここにも高齢化の問題があり、「最近では作業がきつくなった。いつまで続けられる?」「遠いなあ、行き帰りの運転が辛い」とか言いながら、毎週金曜日には畑に出ているのだ。



## 私の“福祉”ボランティア

板部 裕子

私は、若い時に“学びたい”と思っていた福祉関係の資格を取り、退職後活動を始めました。



### 1. 障がい者福祉関係

- ① 知的や身体的に障がいがある方の移動支援、家事援助
- ② 視覚に障がいがある方の同行支援、デイサービス

どちらも台東区・荒川区・足立区の NPO 法人や社会福祉協議会の下で活動

### 2. 高齢者福祉関係

- ① 居宅介護支援センターの下での活動（～2005 年まで）

- ・ <木の葉会> ひとり暮らしの方の孤食による低栄養予防と社会参加の場作りを目指し、週 2 回の食事会支援

- ・ <ひとり暮らしフェスティバル> お正月とお盆の年 2 回、集いの計画・支援
- ・ <おしゃべりサロンライラック> 地域でのふれあいや交流の場として自宅開放

### ② 地域包括支援センターの下での活動（2006 年から）

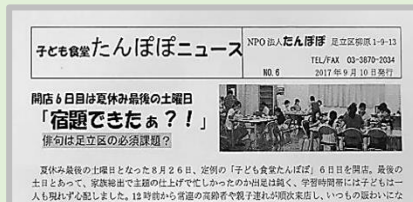
法制度が大きく改正された。① を引継ぎつつ、活動内容をさらに充実

- ・ <やすらぎ支援員> 認知症を抱えるご家族のための支援
- ・ <語らいパートナー> 悩みや寂しさを抱える高齢者の話し相手
- ・ <絆のあんしん協力員> 安心して自分らしく住み続けられる町にするための会議や活動

### ③ <愛犬達と施設訪問> 獣医さんをリーダーにチームを組んで活動

### ④ 高齢者から乳幼児・子ども・父母まで参加の <食堂> と <子ども無料塾>

1. では利用者さんの理解、安全面の配慮、利用時間の厳守、楽しい活動の組み立てに苦勞し、充実した学びでした。また、2. では様々な分野に精通したボランティアの力を結集して活動する楽しさも味わいました。どちらも皆さんの笑顔が糧になりました。



# 令和4年9月 運営委員会 報告・連絡

## 代表挨拶：報告および提案

記録的な猛暑は収まり、朝夕は過ごしやすい季節となり、短い秋が訪れました。コロナの新規感染症も東京はピークを越え、下降状態となっていますが、まだまだ高い水準で推移しています。引き続き、基本的な対策に注力していただきたいと思います。

- (1). あだち区民大学塾について  
9月は2講座開催予定、いずれも令和3年度に企画され、コロナで中止となった講座です。  
江戸庶民と武士の暮らし入門講座 9/9(金)・9/17(土)・9/24(土)  
8/26に50名の方に受講券を発送しております。(ハガキ25名、メール25名)  
メール申込者にはワークルームにて導入したネット環境から受講券を発信しました。  
江戸のヒロイン～歴史をつくった女性たち～ 9/23(金・祝日)  
9/1現在の応募状況はハガキ48名、メール65名、合計113名の申込があります。  
応募締め切りは9/9(金)となっています。(メールでの応募者は増加の傾向にあります)
- (2). 月例会開催について  
① 9月は9/15(木)会員の活動報告の予定です。多くの皆様の参加をお願いいたします。  
② 10月の月例会は大学塾講座の現地学習に先立ち、会員の街歩きを予定しています。
- (3). あだちサークルフェア2022の開催について  
今年は3年振りに開催されることになりました。展示部門で参加したいと思います。  
開催日：10月8日(土)、9日(日)開催 Aフェスタは中止  
入場者を絞り開催することです。
- (4). 事務局当番の件  
9月の事務局当番のお願い

## 議 事

- (1). 情報交換  
・「NPO支援センター」からの案内
- (2). あだち区民大学塾(検討会議・企画会議・地域協働講座)  
「江戸庶民と武士の暮らし」 大沢正明 講師 9/9, 17, 24  
「江戸のヒロイン」 堀口茉純 講師 9/23  
「歌舞伎入門講座Ⅱ」 金田 栄一 講師 10/5, 12, 19  
「印象派の絵画を楽しむ」 島田 紀夫 講師 10/16, 23, 30
- (3). 月例会開催について  
・9月月例会 9/15(木) PM3時～ 会員の活動報告 2名  
・10月月例会 10/21(金) AM9時50分 現地学習「足立姫伝説」をめぐる街歩き
- (4). 学習支援部 大学生とのボラ提携について  
① ボランティア活動推進部 部会  
② 事務局 9/13 部会及びニュース発送  
③ 受託事業グループ なし  
④ 広報グループ ニュース 287号の発行
- (5). その他  
・運営体制の強化策 新会員募集方法、会の運営方針等再検討が必要。→月例会で討議  
・「社会教育」9月号 ロッカーに保管  
・その他 ご案内・回覧(運営スタッフ募集、NPOセンターよりの案内等)

次回運営委員会 10月3日(月) 14:30から(研4)

## ◎講座名：高校生による

### あだち未来スケッチ発表会

日 時：11/20（日）午後1時30分～5時  
 対 象：どなたでも  
 会 場：4階 講堂  
 受講料：無料  
 定 員：50人（事前申込先着順）  
 講 師：村木 風海氏（一般社団法人 炭素回収技術研究機構 代表理事・機構長）  
 内 容：第1部 特別講演「地球を守り、火星を拓く」科学者・発明家として小学校4年生から地球温暖化防止と人類の火星移住の実現を目指し様々な活動に取り組んできた村木氏。その22年の想いと活動の軌跡を振り返ります。第2部 高校生による「自分や社会に向けたチャレンジテーマ」の発表会少し先の自分の未来や社会に向けたチャレンジ・想いをテーマにした、各高校から選出された作品を順番に発表します。第3部 発表者との意見交流会高校生の各発表者との意見交流会を行います。お気軽にご参加ください。

## ◎講座名：身近なインフラが崩れる!?

### 私たちの未来の生活を守る方法

日 時：11/24（木）午後2時～4時  
 対 象：16歳以上の方  
 会 場：5階 研修室1  
 受講料：800円（一律、講座当日にお支払い）  
 定 員：50人（事前申込先着順）  
 講 師：根本 祐二氏（東洋大学大学院 経済学研究科 教授）  
 内 容：私たちの生活を支える身近なインフラや公共施設は、実はその多くが老朽化し、崩落事故やサービス停止が起こる日が近づいて来ています。私たちの未来の生活を守るためには、持続可能なインフラ更新が必要不可欠です。講座内では実験を通して、公共施設の在り方について、自分ごととして分かりやすく学びます。

お申込みは：電話(03-5813-3730) 又は直接窓口  
 インターネット [近所 de まなびナビ] で検索  
 イベント・講座情報→講座予約システム

## 令和4年10月「月例会」のご案内

日 時：10月21日（金）午前9時50分  
 場 所：現地学習 北千住西口 集合  
 テーマ：「足立姫伝説」をめぐる街歩き

## 令和4年11月「月例会」のご案内

日 時：11月16日（水）3時～5時  
 場 所：生涯学習センター5階 研修室4  
 テーマ：会の活動を考えるフリートークキング  
 （詳細は、別途ご案内いたします）

\*皆様の積極的な参加をお待ちしています。  
 （ボランティア活動推進部）

- ◎ 運営委員会  
10月3日(月) 午後2時半～4時 研修室4
- ◎ 月例会  
10月21日(金) 午前10時～午後1時 現地学習
- ◎ 学習支援部  
10月18日(火) 午後1時～2時 ワークルーム
- ◎ ボランティア活動推進部  
10月11日(火) 午後2時～4時 ワークルーム
- ◎ 事務局  
10月4日(火) 午後2時～4時ニュース放送  
10月11日(火) 午後2時～4時ワークルーム
- ◎ 広報グループ  
メール会議
- ◎ 大学塾講座検討会議  
10月18日(火) 午後2時～3時 研修室4
- ◎ 大学塾講座企画会議  
10月3日(月) 午後1時半～2時半 研修室4
- ◎ 生涯学習センター 休館日  
10月17日(月)

## ★お問い合わせ＆ご意見

- ◎ 「楽学の会」の運営に関するお問合せ  
事務局 江川武男 電話:090-3105-8140  
E-Mail: [takeo-wg@cj9.so-net.ne.jp](mailto:takeo-wg@cj9.so-net.ne.jp)

## 編集後記

### “グリーン GDP の推進” 経済成長の中に環境負荷も織り込む

各国の経済規模や経済成長度で景気状況などを表す指標として使用されている、国内総生産（GDP）では、一定期間に生み出された経済的な価値を示す、家計、企業、政府、海外経済と幅広い分野の活動を俯瞰できる指標として役立つが、環境と経済を統合し、「持続可能な開発」を実現する見地から、経済活動のゆがみを十分に捉えていない。「真の豊かさを出すことはできない」限界も、念頭に置く必要がある。例えば、大量の汚染物質を排出して大気や水質を汚染したとしても、生産額が増加することでGDPが増大、その負の価値はGDPから引かれられない。それどころか、汚した大気を浄化するための投資をすれば、さらに需要が増えてGDPは大きくなる。汚染物質を除去するための開発費やメンテナンスなどの巨額の設備投資も、当然のことながらGDPが増加します。また、自然を破壊して「開発」という名のもとに大規模な開拓事業をすると、破壊の費用、整地の費用、建設費、開業後の運営費、入場・宿泊料などがGDPに加算されます。さらに開発された場所を自然に戻す場合にも、自然復元に莫大な費用がかかり、これもGDPの増加となります。つまり「環境を汚染・破壊しても、環境汚染を防止・復元してもどちらもGDPの増加につながる」ということです。以上のことから「GDPの拡大を目的とする限り、幸福な世界を実感することは不可能」ということです。グリーンGDPは、従来のGDPから環境破壊による経済的損失（外部不経済）を差し引いて算出する指標で、国連が1993年に打ち出した「環境・経済統合勘定」に基づいて各国で積極的に進められています。脱炭素社会の実現は、待ったなしの環境課題である。推進に向けた機運を高めるうえで、「グリーンGDP」が有力な手段となるよう期待したい。

（金子 記）